



**ICC** ● 2019  
TOKYO  
Mapping Everything for Everyone

29<sup>th</sup>

# International Cartographic Conference

15th-20th July 2019

National Museum of Emerging Science and  
Innovation (*Miraikan*) &  
Tokyo International Exchange Center\* トラ

協賛趣意書

# 目次

2019年5月

I. 開催趣意書	
ご挨拶	2
開催概要	3
II. パッケージスポンサー募集要項	
パッケージスポンサー： スポンサーレベル	7
お申込、お支払について	8
III. 展示募集要項	
出展要項	10
お申込、お支払について	11
IV. 広告・プロモーション募集要項	
スポンサーオプション一覧	14
お申込、お支払について	17

# I . 開催趣意書

## ご挨拶

2019年7月に東京で開催する第29回国際地図学会議（ICC2019）は、国際地図学協会が2年（総会は4年）ごとに開催する国際会議であり、1962年の第1回から当会議で29回目を迎える地図学分野では最も歴史と権威のある国際会議です。この会議の日本での開催は、1980年の第6回の東京大会以来、39年ぶり2回目となります。

地図学は、惑星から地球、そして人間をとりまく身近な空間まで、さまざまなスケールの空間を対象に、目的に応じて地図として効果的に表現する方法を研究する学問です。近年は、地図のデジタル化にともなって一般利用が進み、理論のみならず応用面でも長足の進歩を遂げています。

この度のICC2019では、「地図づくりを、誰にもどんな事にも！」をメインテーマにして、アートと地図、アトラス、地図遺産、子どもと地図、災害地図、地図認知、地図学教育、総描、空間分析、空間情報、地図史、位置情報サービス（LBS）、地図デザイン、投影法、視覚障害者向け地図、インターネット利用、山岳地図、オープンソースGIS、惑星地図、標準化、センサー利用、地形図作成、地名、ユビキタスマッピング、地図利用、視覚化、などを主要課題として、研究発表と討論、ワークショップや見学会、および地図作品や機器の展示が行われることとなっています。

この会議を日本で開催することは、前回日本で開催された1980年以降のデジタル化にともなう地図の先進的な利用方法と、それにともなう理論的發展を全世界の研究者に大きくアピールすることになります。併せて国内の多方面の関係分野の研究者の参画を促して交流を図る絶好の機会となり、我が国の地図学に関する研究を一層発展させる契機となることが期待されます。会期中には、国際地図展および国際子供地図展が併催されることになっており、専門分野のみならず広く一般市民も、最先端の地図の表現技術や諸外国の地図文化に接することができます。メイン会場となる日本科学未来館は、ジオコスモスをはじめとする地図関連の常設展示が行われており、これまでもG空間EXPOの会場となるなど、地図・地理空間情報の先端的な学術と技術を紹介するのに最適な場所といえます。

また、地図学に関するアウトリーチ活動として市民公開講座が、「地図とアート」、「地図の日本文化」、「外国人に分かる地図」、「最新のデジタル地図を使う」などのテーマで開催される予定です。地図や地理空間情報に関する技術や研究が身近な生活の中でどのような効果を発揮しているのか、今後どのように発展し未来に役立てていくかについて、広く社会に向けて発信する絶好の機会になるはずです。

ICC2019の開催にあたっては、もとより地道な大会運営を行うことを肝に銘じておりますが、大会の翌年に開催される東京五輪・パラリンピックを前にして各種経費が上昇しつつあり、また消費税増税も予定されていることから、参加費のみでの財政運営がきわめて困難な状況にあります。資金面の自助努力を重ねておりますが、関連業界をはじめ本会議の趣旨にご賛同いただき、ご理解下さる方々のご支援をお願いせざるを得ない状況にあります。

つきましては、誠に恐縮ではございますが、ICC2019の企画をご理解いただき、本会開催へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2018年1月吉日  
第29回国際地図学会議組織委員会  
組織委員長 森田 喬

## 開催概要

### 1 会議の名称

第 29 回国際地図学会議

The 29th International Cartographic Conference (略称 ICC2019)

### 2 主催

第 29 回国際地図学会議組織委員会

共催 (予定)

日本学術会議

### 3 会議の母体機関

International Cartographic Association (ICA)

### 4 開催期間 2019 年 7 月 15 日 (月) ~ 20 日 (土) (6 日間)

開催場所 日本科学未来館 (東京都江東区青海 2 丁目 3 番 6 号)

東京国際交流館プラザ平成 (東京都江東区青海 2-2-1 国際研究交流大学村内)

### 5 会議の性格と目的

日本と世界の地図学・地理情報科学の発展に寄与し、理論と応用の両面で地図・地理空間情報の作成と利用における社会的意義を高め、人類における地図の普及と活用を促進することを目的として開催する。

### 6 日本開催の経緯と意義

- (1) 国際地図学協会 (ICA) は、地図学における学術研究の振興、国際間の研究協力および交流を目的として、1959 年に設立された。ICA は、各国を代表する地図・地理・地質に関する公的組織が会員となる協会で、現在、77 カ国が加盟している。加盟各国には対応する国内委員会が設けられており、日本では日本学術会議 IGU 分科会の ICA 小委員会がその役割を果たしている。協会の最高議決機関である総会は 4 年ごとに開催され、運営は理事会 (会長 1 名、副会長 5~7 名、事務局長 1 名) が行っている。おもな事業としては、隔年で開催される国際地図学会議 (ICC) があり、日本では 1980 年に第 6 回 ICC 大会および総会を開催した。ICC は、各国から毎回 1,200 名程度が参加する地図学分野で最大規模の国際学会である。ICC の参加者は、高度な知識を有する研究者・公務員・技術者・専門家であり、地図学者、地理学者、地質学者、地理情報科学者、地図製作技術者、測量士、情報研究者、情報技術者などから成り立っている。研究発表を

通じて、地図学・地理情報科学研究の最新の成果を広く知らせるだけでなく、産官学の研究者間の交流を図り、研究の推進と社会に対するアピールを積極的に行ってきた。

日本学術会議 ICA 小委員会の議決に基づいて、2015 年にリオデジャネイロで開催された ICA 総会にて 2019 年の東京大会を提案し、加盟国の代表による投票の結果、39 年ぶりに日本での ICC 開催が決定した。

- (2) 地図学は、惑星から地球、そして人間をとりまく身近な空間まで、さまざまなスケールの空間を対象に、目的に応じて地図として効果的に表現する方法を研究する学問である。近年は、地図のデジタル化にともなって一般利用が進み、理論のみならず応用面でも長足の進歩を遂げている。地図学は、これまで我が国においては比較的应用面が先行していたが、今後は基礎理論面での貢献も大いに期待されている。
- (3) この度の第 29 回国際地図学会議では、「地図づくりを、誰にもどんな事にも！」をメインテーマにして、アートと地図、アトラス、地図遺産、子どもと地図、災害地図、地図認知、地図学教育、総描、空間分析、空間情報、地図史、位置情報サービス (LBS)、地図デザイン、投影法、視覚障害者向け地図、インターネット利用、山岳地図、オープンソース GIS、惑星地図、標準化、センサー利用、地形図作成、地名、ユビキタスマッピング、地図利用、視覚化、などを主要課題として、研究発表と討論、ワークショップや見学会、および地図作品や機器の展示が行われることとなっている。
- (4) この会議を日本で開催することは、前回日本で開催された 1980 年以降のデジタル化にともなう地図の先進的な利用方法とそれにとともなう理論的發展を全世界の研究者に大きくアピールし、併せて国内の多方面の関係分野の研究者の参画を促して交流を図る絶好の機会となり、我が国の地図学に関する研究を一層發展させる契機となることが期待される。会期中には、国際地図展、および国際子ども地図展が併催されることになっており、専門分野のみならず広く一般市民も、最先端の地図の表現技術や諸外国の地図文化に接することができる。メイン会場となる日本科学未来館は、ジオコスモスをはじめとする地図関連の常設展示が行われており、これまでも G 空間 EXPO の会場となるなど、地図・地理空間情報の先端的な学術と技術を紹介するのに最適な場所といえる。

また、地図学に関するアウトリーチ活動として市民公開講座が、「地図とアート」、「地図の日本文化」、「外国人に分かる地図」、「最新のデジタル地図を使う」などのテーマで開催される予定である。地図や地理空間情報に関する技術や研究が身近な生活の中でどのような効果を発揮しているのか、今後どのように發展し未来に役立てていくかについて、広く社会に向けて発信する絶好の機会になるに違いない。

## 7 会議計画の概要

### (1) テーマ・主要題目

メインテーマ：「地図づくりを、誰にもどんな事にも！」

主要題目：アートと地図、アトラス、地図遺産、子どもと地図、災害地図、地図認知、地図学教育、総描、空間分析、空間情報、地図史、位置情報サービス (LBS)、地図デザイン、投影法、視覚障害者向け地図、インターネット利用、山岳地図、オープンソ

ース GIS、惑星地図、標準化、センサー利用、地形図作成、地名、ユビキタスマッピング、地図利用、視覚化 等

(2)会議使用言語

英語、フランス語（同時通訳：有り、ただし総会および開会式・閉会式のみ）

(3)会議プロシーディングス

印刷物及び磁気記憶媒体で配布する。

(4)展示内容

学術展示：国際地図展（デジタル作品を含む）、子ども地図展、ポスターセッション

企業展示：地図制作・地理空間情報機器展示、地図関連製品・図書・デジタルコンテンツ展示

(5)参加予定国

日本、アルゼンチン、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、クロアチア、チェコ、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、インド、インドネシア、イラン、アイルランド、イスラエル、イタリア、カザフスタン、ケニア、韓国、ラトビア、リトアニア、マレーシア、メキシコ、モンゴル、オランダ、ニュージーランド、ナイジェリア、ノルウェー、パキスタン、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、ロシア、南アフリカ、スペイン、スウェーデン、スイス、タイ、トルコ、ウクライナ、英国、米国等

以上約 50 カ国

(6)参加予定者数

約 1,100 名

## Ⅱ．パッケージスポンサー募集要項



## 1) パッケージスポンサー： スポンサーレベル

シンポジウム共催費・出展料・広告費などの申込累積額に応じ、GLOBAL・HEMISPHERE・CONTINENTALの3つのスポンサーレベルを設定しております。各レベルに応じて、下記の通り特典をご用意しております。

なお、パッケージ内容の変更をご希望される際は、運営事務局までご連絡ください。

### 1. GLOBAL スポンサー 2,000,000 円（税抜）

スポンサー総額 2,000,000 円以上の企業様には、下記の特典と資格を用意致します。

- 大会公式ウェブページおよびアプリへの広告掲載
- 大会公式ウェブページから貴社ウェブページへのリンク
- 参加者コンタクトリストのご提供
- 全ての印刷配布物、看板類への広告・ロゴ掲載とオープニング、クロージングセッションでの紹介、謝意表明
- 5名様分の参加証
- 5名様分の協賛社バッジ
- カンファレンスバックへの広告物封入
- アプリ内ロゴ掲載とウェブページへのリンク
- ブース出展の際に配置決定の優先権

### 2. HEMISPHERE スポンサー 1,000,000 円（税抜）

スポンサー総額 1,000,000 円以上の企業様には、下記の特典と資格を用意致します。

- 大会公式ウェブページおよびアプリへの広告掲載
- 大会公式ウェブページから貴社ウェブページへのリンク
- 参加者コンタクトリストのご提供
- 3名様分の参加証
- 3名様分の協賛社バッジ
- カンファレンスバックへの広告物封入
- アプリ内ロゴ掲載とウェブページへのリンク
- ブース出展の際に配置決定の優先権

### 3. CONTINENTAL スポンサー

500,000 円（税抜）

スポンサー総額 500,000 円以上の企業様には、下記の特典と資格を用意致します。

- 大会公式ウェブページおよびアプリへの広告掲載
- 大会公式ウェブページから貴社ウェブページへのリンク
- 参加者コンタクトリストのご提供
- 2名様分の参加証
- 2名様分の協賛社バッジ
- アプリ内ロゴ掲載とウェブページへのリンク
- ブース出展の際に配置決定の優先権

## (2) お申込、お支払について

全てのスポンサーの申込は先着順で受け付けられます。原則、締切日以降は、お申込を受け付けられません。

### 1. お申込み方法

添付の申込用紙に必要事項をご記入の上、ファックスまたはメールにて下記までお送り下さい。

ICC2019 運営事務局

株式会社 アイ・エス・エス内

〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル 8階

TEL : 03-6369-9984 FAX : 03-3453-1180

E-mail: [icc2019@issjp.com](mailto:icc2019@issjp.com)

機関・企業名は、プログラム掲載時に英語表記が必要になりますので必ずお記入ください。なお、お申込書に記載の表記を使用させていただきますので、お間違えないようご注意ください。（大文字・小文字もそのままの記載となります。）

### 2. お支払い方法

お支払は全て日本円をお願い致します。申込用紙を受理した後、運営事務局より請求書を発行いたします。請求書に記載された支払期日までに、指定された口座へご入金ください。振込手数料は申込者のご負担となります。

### 3. キャンセルについて

ご入金後のキャンセルは受け付けられませんので、予めご了承くださいませよう願いたします。

### III. 展示募集要項

## 1) 出展要項

会議会期：2019年7月15日（月）～20日（土）（6日間）

会議会場：日本科学未来館・東京国際交流館プラザ平成

展示会場：東京国際交流館プラザ平成 メインホワイエ

申込締め切り：2019年5月末日

スケジュール：搬入2019年7月15日PM～/搬出2019年7月20日PM（予定）

※詳細は後日お知らせ致します。

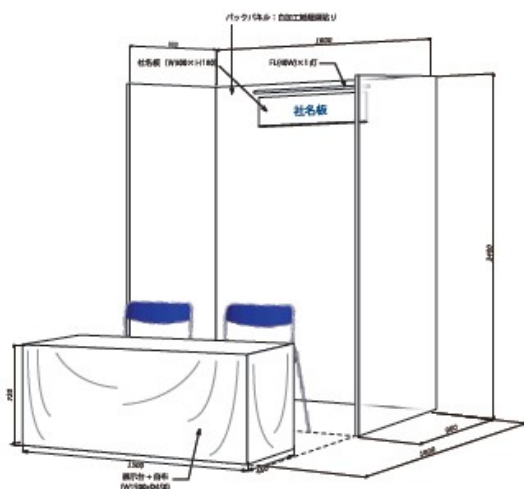
### ● 出展料金

ブースタイプ	単位	サイズ	価格（税抜）
基礎小間	1	3.24 m <sup>2</sup> (W1.8m×D1.8m)	300,000 円

### ● 料金に含まれているもの

- 展示スペース
- 展示ブース
- 照明
- 電気ソケット+ 電気供給
- 椅子2脚
- テーブル1本
- 社名板
- ICC2019 参加証 1枚
- 出展社バッジ 2枚
- プログラム抄録集への企業名の掲載

■基礎小間(W1800xH2400xD1800)



- **出展小間数（予定）**

30 小間

展示小間の割り当ては、主催者および運営事務局にて調整の上、決定します。

- **海外からの出展**

日本で許可されていない機器の出展については運営事務局にご連絡ください。

- **水・ガスの利用**

展示場内での水、プロパン・ガス及び圧縮ガスの使用は基本的に禁止いたします。

- **展示場の管理**

主催者および運営事務局は展示品と展示場の管理には万全を期していますが、盗難や事故、自然災害等による損失に関しては責任を負いません。

- **会期・会場・時間変更について**

会期、開場時間および会場は、やむを得ない事情により変更されることがあります。これらの変更による出展の取り消しは認められません。また、主催者および運営事務局はこれらの変更による一切の損失に対して責任を持ちません。

## 2) お申込、お支払について

全てのスポンサーの申込は先着順で受け付けられます。原則、締切日以降は、お申込を受け付けられません。

### 1. お申込方法

添付の申込用紙に必要事項をご記入の上、ファックスまたはメールにて下記までお送り下さい。

ICC2019 運営事務局

株式会社 アイ・エス・エス内

〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル 8階

TEL : 03-6369-9984 FAX : 03-3453-1180

E-mail: [icc2019@issjp.com](mailto:icc2019@issjp.com)

機関・企業名は、プログラム掲載時、社名板制作時に英語表記が必要になりますので、必ずご記入ください。なお、申込書に記載の表記を使用させていただきますので、お間違えないよう、ご注意ください。

(大文字・小文字もそのままの記載となります。)

## 2. お支払方法

お支払は全て日本円をお願い致します。申込用紙を受理した後、運営事務局より請求書を発行いたします。請求書に記載された支払期日までに、指定された口座へ出展料金をご入金ください。振込手数料は申込者のご負担となります。

## 3. キャンセルについて

ご入金後のキャンセルは受け付けられませんので、予めご了承くださいますようお願いいたします。

## IV. 広告・プロモーション募集要項

## 1) スポンサーオプション一覧

### 1. 印刷制作物への広告掲載

※申込締切日：2019年5月末日

- ファイナルプログラム（発行予定部数：1,100部）  
参加者全員に配布されます。なお、下記掲載料には、デザイン料は含まれておりませんのでご了承ください。

◆ 原稿様式：版下原稿はイラストレーターの手書きまたは紙焼きにてお送りください。

種類	掲載場所・仕様	料金（税抜）	募集枠数
ファイナルプログラム	表 4/カラー	120,000 円	1
	表 2/カラー	100,000 円	1
	表 3/カラー	100,000 円	1
	後付 1 ページ/カラー	80,000 円	3
	後付 1/2 ページ/カラー	50,000 円	3

### 2. 会場内での各種サービス

※申込締切日：2019年5月末日

- コーヒーブレイク  
会期中、一日最大2回、参加者にコーヒー・紅茶を提供いたします。  
コーヒー代等は下記料金に含まれますが、追加等には別途料金を申し受ける場合があります。
- ◆ 時間：10:00～10:30、15:00～15:30（1日最大2回）

種類	PR 媒体・仕様	料金（税抜）	募集枠数
コーヒーブレイク (1日)	① サインボードへの社名ロゴ掲載 ② プログラム集での社名ロゴ掲載	500,000 円	3



● Welcome Reception

開催日時：7月16日（火） 18:00～ （日本科学未来館シンボルゾーン）

種類	PR 媒体・仕様	料金（税抜）	募集枠数
Welcome Reception	①スポンサーボードへの社名の掲載 ②レセプション会場での社名掲示 ③レセプション会場での会社名の紹介及び 会社代表者の挨拶の機会提供 ④レセプション会場内での会社商品等のち らし配布許可	1,500,000 円	1

● Gala Dinner

開催日時：7月19日（金） 18:00～ （八芳園（東京都港区白金台））

種類	PR 媒体・仕様	料金（税抜）	募集枠数
Gala Dinner	① スポンサーボードへの社名の掲載 ② Gala Dinner 会場での社名掲示 ③ Gala Dinner 会場での会社名の紹介 及び会社代表者の挨拶の機会提供 ④ Gala Dinner 会場内での会社商品等のち らし配布許可	3,000,000 円	1

### 3. プロモーショングッズ

※申込締切日：2019年5月末日

- コングレスバッグへのチラシ封入  
参加者全員に配布されるコングレスバッグ（1,100個予定）に、チラシを封入いたします。  
◆ チラシのサイズは、A4以下とさせていただきます。  
◆ チラシは、お申込企業にてご作成いただきます。

種類	料金（税抜）	募集枠数
チラシ封入（1枚あたり）	150,000円	10

- ネームタグ＋ストラップ  
参加者全員が着用されるネームタグおよびストラップ（1,100個予定）に、社名ロゴもしくは商品名を掲載します。

種類	PR媒体・仕様	料金（税抜）	募集枠数
ネームタグ＋ ストラップ	① スポンサーボードへの社名の掲載 ② ストラップに協賛社ロゴ＋社名or商品名の掲載	2,000,000円	1

- 文具（ボールペン＋メモ帳）

種類	PR媒体・仕様	料金（税抜）	募集枠数
文具 （ペン＋メモ帳）	① スポンサーボードへの社名の掲載 ② 協賛社ロゴ or 社名 or 商品名の掲載 ※既存ノベルティの物品提供可	1,000,000円	1

## 2) お申込、お支払について

全てのスポンサーの申込は先着順で受け付けられます。原則、締切日以降は、お申込を受け付けられません。

### 1. お申込み方法

添付の申込用紙に必要事項をご記入の上、ファックスまたはメールにて下記までお送り下さい。

ICC2019 運営事務局

株式会社 アイ・エス・エス内

〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル 8階

TEL : 03-6369-9984 FAX : 03-3453-1180

E-mail: [icc2019@issjp.com](mailto:icc2019@issjp.com)

機関・企業名は、プログラム掲載時に英語表記が必要になりますので必ずお記入ください。なお、お申込書に記載の表記を使用させていただきますので、お間違えないようご注意ください。（大文字・小文字もそのままの記載となります。）

### 2. お支払い方法

お支払は全て日本円をお願い致します。申込用紙を受理した後、運営事務局より請求書を発行いたします。請求書に記載された支払期日までに、指定された口座へご入金ください。振込手数料は申込者のご負担となります。

### 3. キャンセルについて

ご入金後のキャンセルは受け付けられませんので、予めご了承くださいますようお願いいたします。